

|   |  |
|---|--|
|    | <h2>研修タイトル</h2>  |
|   | <h3>労務コンプライアンス研修</h3>  |
|   | <p>講師：飯田 吉宏<br/> <small>まこと</small> 学事務所株式会社 代表取締役<br/>         社会保険労務士・中国古典講師</p> |
| <h3>■ 想定対象者</h3>  |  |
| <p>★中小法人幹部・管理職など、組織管理従事者<br/>         ★人事・総務・経理担当者<br/>         ★後継者・後継人材</p>   |  |
| <h3>■ 研修の効果</h3>  |  |
| <p>近年、企業間の激しい競争の裏で、個人や組織ぐるみのコンプライアンス違反、企業倫理を問われる事件が相次いでいます。一方、パワハラやセクハラ問題に代表される職場のトラブルについても、企業側の対応のまずさによって訴訟や企業名の公表に発展するケースが増加しています。コンプライアンスは単なる「法令遵守」ではなく、企業がステークホルダー（顧客・取引先を始めとする利益保持者）からの信頼を積み重ね、存続していくためのすべての企業活動です。定期的にコンプライアンス研修を重ねることで、社内外に信用力のある人材が育ち、ステークホルダーに安心して関与できる会社であることをアピールできます。研修実績は大学や専門学校への採用活動における自社の強みにもなります。その他、労働法をはじめ基礎的なコンプライアンス知識を持つリーダーの存在によって、既存社員の職場への信頼度が高まり、定着率の向上が期待できます。併せて労使トラブルなど業務遂行上の労務リスクも低減します。</p> |  |
| <h3>■ 研修内容</h3>   |  |
| <p>所要時間… 3時間</p> <p>（基本コンテンツ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスの定義</li> <li>・コンプライアンスにまつわる社会情勢及び労働市場の変化について</li> <li>・企業倫理とコンプライアンスの関係</li> <li>・コンプライアンス軽視が招く企業ダメージ</li> <li>・日本における人事労務の法体系を知る<br/>（労働基準法・労働契約法を中心に）</li> <li>・なぜ企業不祥事は止まないのか？</li> <li>・東洋哲学から考える信用力のある人材の育て方</li> <li>・健全な労働環境と生産性・ES（社員満足）の関係について</li> <li>・コンプライアンス体制の先進事例と破綻事例（ケースメソッド） ほか</li> </ul>   |  |

(お問い合わせ)

TEL 03-3884-1027

E-mail [info@m-jimu.com](mailto:info@m-jimu.com)

Web <https://www.m-jimu.com>

〒121-0813

東京都足立区竹の塚2-23-13-105

まこと  
孚事務所 株式会社

代表取締役 飯田吉宏